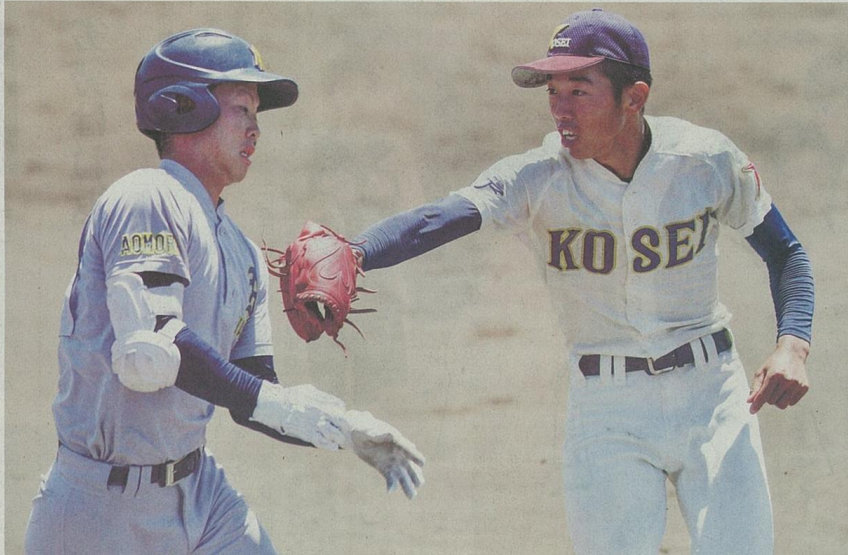


光星 春の雪辱

青森山田打線封じる



【青森山田＝八学光星】6回青森山田1死二塁、工藤壘（左）の投口をさばき、タッチアウトに仕留める光星の横山海夏風＝青森市営

第101回 全国高校野球選手権
青森大会

▼第7、8日▲

初先発・横山 堂々の完投

仲井監督の期待に答えられない自分が情けなく、思い通りの投球ができない時もあった。フォームを見直し、一日に何回も投げ、自信を付けて臨んだ大一番。「監督も、自分がここまでやると思っていなかったんじゃないかな」と誇らしげだった。（里村静）

先発が初めてなら完投も初めてだ。「大事な試合で完投できて、つらかった練習が報われた」と、九回に最後の打者を二振りで斬って取る大活躍。駆け寄ってきた仲間と抱き合い、勝利の喜びに酔いしれた。

「気が引き締まった」という横山。冷静に打者の動きを見極め、狙いが直球と分かる。一回からは変化球主体の配球に変更した。「低めに集めれば抑えられる。打線は光星の方が強い」。そんな確信が芽生え、山田打線への恐怖感は消えた。走者を出しても「一点もやるものか」と強い気持ちで投げ続けた。

八学光星が、春の県大会初戦で敗北を喫した青森山田を破り、最高の形で借りを返した。勝利の立役者となったのは、公式戦初先発の左腕横山海夏風。相手打線は春季東北大会の戦いぶりながら、左投手が苦手なはず。試合をつくってほしいという仲井監督の期待にしっかりと応えた。強力打線をわずか4安打に封じてみせた。初回に先頭打者の本塁打を浴びたことで「気が引き締まった」という横山。冷静に打者の動きを見極め、狙いが直球と分かる。一回からは変化球主体の配球に変更した。「低めに集めれば抑えられる。打線は光星の方が強い」。そんな確信が芽生え、山田打線への恐怖感は消えた。走者を出しても「一点もやるものか」と強い気持ちで投げ続けた。

3回戦

青森山田 1000000000 41
八学光星 0100000000

（青）小牟田 堀田 工藤 黎
（八）横山海 太山
▽本塁打 佐々木（青）
▽二塁打 川原田（青）伊

藤田、福永
【評】八学光星は左腕横山が堅守に支えられて4安打1失点完投。打線は1点リードの三回、2四死球と2暴投で1死二塁とし、大江の左前適時打で加点し、主導権を握った。青森山田は初回に佐々木が先頭打者本塁打を放ったが、二回以降は打線が湿った。八学光星・近藤遼一（初回に2点適時打）「狙い球をストライクに絞っていたが、スライダーにうまく対応できなかった」